

株式会社 資生堂

創業:1872年(明治5年)
事業内容:化粧品、トイレタリー、食品、医薬品などの
製造販売
資本金:645億円
売上高:連結7,234億円(2008年3月期)
従業員数:国内外関係会社を含めた
資生堂グループ約28,800人(2008年3月現在)



「資生堂 女性研究者サイエンスグラント※」設立の背景と特徴 (※グラント:研究助成金、補助金の意味の英語)

近年の少子高齢化社会においては、労働市場における女性の役割は日々重要性を増しています。一方で、「科学技術創造立国」を掲げる中、「理科離れ」が深刻な今日では、科学技術分野における優秀な人材の確保は喫緊の課題です。日本の全研究者に占める女性研究者の割合は12.4%(内閣府『男女共同参画白書 平成20年版』)と、諸外国に比べ極めて少ないのが現状です。これには様々な要因が考えられますが、女性は男性に比べ「出産・育児・介護」といったライフステージの影響を受けやすく、研究生活を断念せざるを得ないといった状況が一因に挙げられます。

このような状況を踏まえ、資生堂は、科学技術分野における女性研究者の活躍がいつそう重要となる将来を見据え、次世代の指導的女性研究者の育成に貢献することを目的として、自然科学分野を専攻する優秀な女性研究者の研究活動を支援する「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」を、2007年度に設立いたしました。

本グラントは、より多くの女性研究者に対象者となつていただくため、年齢・資格(職位)制限を設けず、研究分野についても、広く「自然科学全般」とさせていただきます。また、助成金の使途として、「研究費」以外に「研究補助員の雇用費用」にも充てることができます。

優秀な女性研究者の方に、本グラントを活用していただき、更なる活躍をしていただきたいと思います。

「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」概要

目的	優秀な女性研究者の研究活動を支援し、指導的役割を担う女性研究者の育成に貢献する
対象研究分野	自然科学全般
対象者	日本国内の大学・公的研究機関で、自然科学の研究に従事する女性研究者
募集件数	最大10件
研究期間	1年間
助成金額	1件につき100万円
助成金の使途	研究費用(試薬代、機器代など)、研究補助員の雇用費用
審査方法	社外審査員(北海道大学 有賀早苗教授、日本女子大学 小舘香椎子教授、東海大学 佐々木政子名誉教授(50音順))及び社内審査員による厳正な審査を実施
詳細	http://www.shiseido.co.jp/doctor 参照

ご参考:資生堂の「学術活動支援」と「女性従業員支援」

資生堂はこれまでも、様々な「学術活動」に貢献してきました。学会と提携し「日本皮膚科学会基礎医学研究費(資生堂寄付)(1967年～)」、「JSID's Fellowship SHISEIDO Award(1998年～)」という研究助成制度を実施したり、更に近年は、理科離れが危惧されている世代への学術支援として、文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール」への講師派遣なども、積極的に行っています。

一方資生堂は、従業員の7割が女性という背景もあり、育児休業制度(1990年～)などの社内制度の充実にも取り組んでまいりました。その結果、2005年以降、「結婚」「出産」を理由に退職した女性研究者はひとりもなく、また40歳以下の研究者の割合も、現在では女性がほぼ5割となっています。

資生堂は、今後も学術活動、および女性が活躍し、輝き続けることができる環境の創出に、貢献していきたいと考えています。

資生堂は、優秀な女性研究者の研究活動を支援し、指導的女性研究者の育成に貢献することを目的に、「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」を実施しています。

一瞬も一生も美しく



担当者:資生堂 品質評価センター 学術室
東 和美
連絡先:〒224-8558 横浜市都筑区早渕2-2-1
資生堂リサーチセンター
TEL:045-590-6160 FAX:045-590-6098
e-mail:kazumi.azuma@to.shiseido.co.jp